

作：ゲオルク・トラークル

演出：クロード・レジ

フランス演劇界において、もつとも正統的かつ過激な演出家である
クロード・レジの、『最後』の作品。
オーストリアの夭折の詩人、ゲオルク・トラークルの描く自伝的エクリチチュールが、
徹底的なテキスト探求によって、禁欲的で硬質な舞台表象として現れる。

夢と錯乱

Rêve et Folie

2018年5月5日(土)・6日(日) 両日ともに15時開演

京都芸術劇場 春秋座 特設客席 (京都造形芸術大学内)

※上演時間：約1時間 仏語上演・日本語字幕あり

※演出の都合上、開演後のご入場、また再入場をお断りさせていただきます。ご了承ください。

【チケット販売】 整理券有入場、自由席

一般＝4000円／京都芸術劇場 友の会＝3600円／学生&ユース＝2000円

※当日は500円増 ※本観客の入場はご遠慮ください ※開演10分前より整理券番号にて客席へご案内いたします

※ユースは25歳以下対象、学生&ユースは要証明書類 ※座席等ご利用のお客様、星の年有休なお客様は、京都芸術劇場チケットセンターまでお知らせてください

関連企画 映像上映会

『クロード・レジ：世界の火傷』 *Claude Régy : la brûlure du monde* © LOCAL FILMS 2008

レジ演出作品『ダビデの歌のごとく』 *Comme un chant de David* (アンリ・メシヨニック翻訳)の舞台映像と原作について語るレジの映像で構成された、2005年製作映画。収録された舞台映像は、映画のために特別に抜粋され撮影されたものだが、通常、自作を映像に残さないレジ作品を知る貴重な資料、日本語字幕つき。

日時：2018年4月21日(土) 15時 上映時間50分

会場：京都造形芸術大学 映像ホール (人間館地下1階) 入場無料・要事前申込

申込み方法：京都芸術劇場ホームページ (<http://k-pac.org/>) またはチケットセンター (平日10-17時 Tel: 075-791-8240)

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、製作：アトリエ・コンタンポラン、協力：SPAC、静岡県舞台芸術センター、助成：アンステイチュ・フランス



京都芸術劇場
春秋座

【演出】クロード・レジ Claude Régy

フランスの演出家。1923年生まれ。特定の劇種や劇団に属することなく、独自の理念で、主に同時代の作家の作品を上演している。1952年から活動をはじめ、初期にはガルスア・ロルカやメーテルリンクなどを演出していたが、1960年代にマルグリット・デュラスの作品と出会い、『「ギリシヤの恋人」(マドレーヌ・ルノー主演、1969)などを演出。さらに1965年からはビンター、オズボーン、ストッパードなど美楽の作品を手がけ、1970年代以降はナタリー・サロート作品上演の一方で、ベーター・ハントケ『ポーデン語の騎行』(ジャンヌ・モロー主演、1974)、ボート・シュトラウス『再会の三部作』(1980)などのドイツ語圏戯曲の紹介にもつとめる。メーテルリンクの『内部』(1986)やアンリ・メッシュニックの聖歌の一部をもとにした『賢者の言葉』(1995)では、言葉や声に関する徹底した探求の成果が認められた。90年代以降ではルウヴューの現代作家ジャン・フッセルの『だれか、来る』(1999)やサラ・ケイン『4時48分サイコシス』(イザベル・ユルベラン主演、2002)などでの劇的な舞台で話題を集めた。2009年にはフェルナンド・ペソア作『海の讃歌(オード)』を発表。翌2010年に初来日公演として、静岡と京都芸術劇場春秋座にて上演。1981年以降、パリ国立俳優学校(コンセルヴァトワール)で教鞭をとり、その著作によっても、多くの若い演出家や俳優に影響を与えている。

本作『夢と錯乱』は、2016年に93歳で演出。クロード・レジ自身、本作は最後の作品になると語っている。



私の仕事において、今や到達できない境地に到達したいという思いにとりつかれている。そして、トラークルは人間の一番あいまいな部分に入り込むことのできる輝ける見本のような存在なのである。

それはすべてのタブーを破ることである。

クロード・レジ

【作】ゲオルク・トラークル Georg Trakl

1887年ザルツブルグで、裕福な貴人の家庭に生まれる。若くして美利師として働くなかでモルセネ中絶となり、妹のグレーテと近親相姦の関係にあった。1914年にポーランドのグロデック近郊の東部戦線で、極めて悲惨な状況下で愛着の浴槽をしていたときに、コカインの過剰服用により27歳で亡くなった。



夢と錯乱

42016年9月19日付 ファビエンス・ダージュ「ル・モンド」紙 レビュ・抜粋
これが本当にさようならなるのだろうか。演劇における私たちの人間国宝クロード・レジは、93歳で演出したこの『夢と錯乱』が最後の作品になると語っている。(…)1960年代からデュラス、ハントケ、メーテルリンク、ヨン・フオッセル、サラ・ケインとともに航海をつづけてきたレジは、またしても、これ以上ないほどユニークな作家から出発して、沈黙と夜の極限を追求する。レジが追求してきたものの全てが、往々にしてオーストリアのランボーと称される詩人、呪われた詩人の代表格とも言えるゲオルク・トラークルへと取替されるようにも思える。

【作】ゲオルク・トラークル

【仏語訳】ジャン＝クロード・シュネーデル、マルク・ブティ(ガリマール社)

【演出】クロード・レジ

【出演】ヤン・ブードー

【演出助手】アレクサンドル・バリー 【舞台美術】サラディン・カティール

【音響】フリッパ・カリア 【照明】アレクサンドル・バリー

【初演】ナンテール＝アマンディエ劇場、2016年9月15日

2018年5月5日(土)・6日(日) 両日ともに15時開演
京都芸術劇場 春秋座 特設客席 (京都造形芸術大学内)

【チケット前売】整理番号順入場・自由席

一般=4000円/京都芸術劇場 友の会=3600円/学生&ユース=2000円

※当日は各500円増 ※未就学児の入場はご遠慮ください ※開演10分前より整理番号順にて客席へご案内いたします

※ユースは25歳以下対象、学生&ユースは要証明書提示

※車椅子をご利用のお客様、足の不自由なお客様は、京都芸術劇場チケットセンターまでお知らせください

【チケット発売日】友の会先行発売=2018年3月6日(火)/一般発売=2018年3月7日(水)

【チケット取り扱い】

■京都芸術劇場チケットセンター (窓口販売・電話予約) Tel: 075-791-8240 (平日10:00-17:00)

※5/3(木・祝)・4(金・祝)は、電話のみ受け付けます

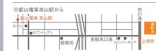
■劇場オンラインチケットストア ※会員登録(無料)

パソコンから <http://www.k-pac.org/> 携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

■チケットぴあ <http://t.pia.jp/> Tel: 0570-102-9999 (Pコード: 485-413)

■イープラス <http://eplus.jp> ■京都・滋賀各大学学生協プレイガイド

※京生学園生は京都芸術劇場チケットセンターのみ取り扱い



●JR・近畿京都市駅、京国三島駅、阪急河原町駅から
京都市バス5号系統(市バス)行き乗車。
「上河町・京都造形芸術大」下車
(京都駅から約50分、三島駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204号系統(環状線)行き乗車(約15分)。
「上河町・京都造形芸術大」下車

●京阪電車出町柳駅から
朝山電車に乗り換え、朝山駅下車 徒歩約10分
◎駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はご遠慮いたします。
◎お問合わせはあくまで目安です。交通事情により
大きく変更いたします。



【託児サービス】託児サービスをご利用いただけます(要事前予約/お申込み・お問合せ先: 下記主催まで)。

◎対象: 生後6ヶ月以上7歳未満 ◎料金: お子様1名につき1500円 ◎申し込み期間: 3/7(水)~4/27(金) 17時まで

【主催・お問合せ】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川高生山2-116 Tel: 075-791-9437 <http://www.k-pac.org/>